

令和7年度 地域連携推進会議 議事録

事業所名 : 社会福祉法人 啓和会 障害者支援施設 久喜けいわ

日 時 : 令和8年3月11日(水) 13:30~15:30

場 所 : 久喜けいわ喫茶談話室

構 成 員 : 5名

利用者代表 A 利用者家族代表 B

地域関係者 C 福祉知見者 D 行政関係者 E

【議 題】

1. 開会、施設長挨拶、地域連携会議の目的説明
2. 出席者自己紹介
3. 事業所概要説明
4. 施設見学(利用者聞き取り)
5. 議事
 - (1) 事業所やサービスの透明性と質の確保に関すること
 - ・利用者の日常生活の様子について
 - ・経営状況の報告
 - ・BCP(業務継続計画)の策定状況について
 - (2) 事業所と地域の連携に関すること
 - ・地域状況(課題等)の共有
 - ・地域行事と事業所行事について
 - (3) 利用者の権利擁護に関すること
 - ・虐待事案、事故、ひやりはっとの報告
 - ・支援者の様子について
 - (4) 質疑応答、意見交換
6. 閉会

○施設内見学と利用者聞き取り

作業棟、味噌加工室及び就労継続B型、生活棟(男女棟居室、女性浴室、食堂、洗濯室等)、自立棟(居室、食堂、洗濯室等)、キャンパス班、ハンドメイド班の見学。

【見学時の意見や感想】

- ・シール貼りやバリ取り作業をととても集中して取り組んでいて感心する。
- ・4人部屋のベットやタンスの配置は利用者の希望なども聞き取れているのか。
- ・お風呂のデザインも素敵だと思った。
- ・入浴を毎日できているのは素晴らしい。
- ・障害者雇用で洗濯や綺麗に洗濯物を仕分けして畳むことに感心した。
- ・活動室の天井が損傷しているところがあり、気になった。

【見学时、利用者の方への質問】

- 1) 作業棟 N さんに質問「今日はマラソン練習をしてきたようだがどこで練習をしているのか」
→機能訓練棟で毎週水曜に練習していて、今練習が終わって戻ってきた。来週 18 日は公園で練習する。
- 2) 男性棟 M さんに質問「どこかに出掛けたりしているのか」「ご飯は美味しいか」
→バーガーキングに食べに行った。アルディージャのサッカー観戦に行った。
→久喜けいわのご飯は美味しい。
- 3) 自立棟 K さんに質問「今、ベランダで煙草を吸っていたが好きなのか。銘柄は何か知りたい」「飲み物も好きか」
→煙草はキャビンを吸っている。煙草は好き。
→1日2回は1階にある自動販売機でブラックのコーヒーを買って飲んでいる。
- 4) 生活棟洗濯室で洗濯物を豊んでいた障害雇用をしている K さんと S さんに質問「丁寧に良く頑張っている人にもっとお給料が多くなると良いと思う。大型洗濯機と乾燥機は何回くらい回しているのか」
→(K さん) それぞれ3回ずつはいつも洗濯機と乾燥機を回している。丁寧に仕事している。
→(S さん) 僕は午前は掃除を頑張っている。K さん1人で午前は洗濯してもらっている。

○議事

- (1) 事業所やサービスの透明性と質の確保に関すること
 - ① 利用者の日常生活の様子について
 - ・利用者の平均年齢、障害支援区分の説明
 - ・日中活動の取り組み状況
 - ・クラブ活動の取り組み状況
 - ・余暇支援の取り組み状況
 - ・希望外出の実施
 - ② 経営状況
 - ・ホームページに掲載
 - ③ BCP（業務継続計画）の策定状況について
 - ・感染症発生時における業務継続計画についての説明
 - ・自然災害発生時における業務継続計画についての説明
- (2) 事業所と地域の連携に関すること
 - ① 地域状況（課題等）の共有
 - ・質疑応答時に共有することを伝える。
 - ② 地域行事と事業所行事について
 - ・地域の祭りへの支援員参加
 - ・地域のイベントでの利用者作品販売
 - ・地域のなわとびフェスタへの利用者と支援員参加

- ・地域のマラソン大会への出場
- ・地域ボランティアの協力と交流

(3) 利用者の権利擁護に関すること

- ① 虐待事案、事故、ひやりはっとの報告
 - ・苦情の対応と対策
 - ・施設内事故の報告と対策
- ② 支援者の様子について
 - ・DVD 動画鑑賞で報告

(4) 質疑応答、意見交換

【利用者家族代表 B】

- ・入所している利用者の家族として、安心できる生活だと感じた。車椅子の方用にエレベーターも設置されており、とても良かった。高齢化していくと今後は移乗しやすいベッドが必要となると思うが、必要とされるところに国からの補助金があると良い。
- 利用者の高齢化に伴い、機能低下など様々な変化が見られてきている。しっかりその変化に対応してはいるが支援員の数に限りがあったりと対応できていないことも現実で、ロボット導入も含めて検討していく必要があると感じている。

【地域関係者 C】

- ・電動ベッドなど今後高齢化していく利用者には必要な物なので国に要望を出せないのか。
- 現在は必要な方には自己負担で電動ベッドを準備している。今は電動ベッド用途そのものの考え方が変わってきているので、県単事業等での補助制度があると有難い。

【福祉知見者 D】

- ・見学してみて老朽化と言っていたが、シールを貼ることが好きな利用者の部屋は窓にシールが貼ってあったり、廊下も木目調の壁紙に修復されていたりと工夫されていて気にならなかった。とても自己肯定感が高まる工夫で良かった。
- ・質問として事故、ひやりはっと報告時に事故や怪我を環境で防げると報告があったが、具体的に教えていただきたい。
- 今後高齢化も進み、ちょっとしたことで骨折に至ることも考えられ、クッション性のある物を壁や床に使用することで怪我を防げるのではないか。また、見守りカメラやセンサー設置の検討など行い、利用者の方を安心して見守れるように今後きちんと利用者と支援員に説明した上で進めていきたいと考えている。
- ・質問として支援員は利用者と離れてきちんと休憩をする場があったり、休憩時間の確保はできているのか。
- 自立棟2階に和室があり、支援員の休憩場所として仮眠をとったり、のんびりとできる場を設けている。また、休憩時間は外に出たりして過ごしている支援員もいて休憩はきちんととれている。利用者の様子で所定の時間に休憩に入れない場合でも休憩開始から1時間はとってもらおうようにしている。

【行政関係者 E】

- ・利用者にとって一番は安全、二番は生活が楽しくであると思うが、今後も様々な会議で利用者の方を真ん中に置いて話し合いができれば良いと思う。